

ゼロ・ウェイストの導入による 北インド・ウッタラーカンド州 生物圏保護区の環境保全

238, Sidhartha Enclave,
New Delhi, India
電話: +91-11-2984 2809
E-mail: info@chintan-india.org
http://www.chintan-india.org/



ひろげる助成

1年目

実践

ゼロ・ウェイスト研修
実施回数 15回資源化・堆肥化された
ごみの量/日 100kg

今年度計画の達成度 90%

活動の全体目標に対する
達成度 30%

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

山間部という地理的文化的に閉鎖された区域に立ち入り、信頼感を勝ち得て、適切な働きかけの方法を見つけること。

■ 工夫した点

最初の数か月をネットワークの構築に費やしたほか、地域特性に合わせ、戸別訪問など小規模な働きかけを繰り返し実施した。



課題

北インドの生物保護区では、宿泊施設や観光客が河川や森林にごみを常習的に投棄し、生態系が脅かされている。廃棄物処理法の執行も進んでおらず、解決の糸口がみられない。

目標

ゼロ・ウェイストを基本とする持続可能なごみ処理について啓発を進め、地元当局との協働の中でいくつかの成功モデルを作り出し、広範囲への敷衍を目指す。

活動内容と成果

1年目の本年は、ウッタラーカンド州パンゴットのナイナ・デヴィ・ヒマラヤ鳥類保護区をモデル地区とし、地元住民及び宿泊施設向けに、幾度にもわたる研修を実施し、宿泊施設のゼロ・ウェイスト化に取り組んだ。その結果、これ

までごみ処理が皆無であった同地において、分別資源化および堆肥化がスタートし、町をあげてのゼロ・ウェイスト運動が高まりをみせている。



生ごみ飼料化を推進する
ポスターを作成

今後の 展望

2年目以降、同様の成功事例を増やしつつ、地元主導で、低所得者層の雇用も含めた社会経済的にメリットのある方式の確立を目指し、最終的には地元当局によるガイドラインの公認につなげたい。